

環境保全行動 報告提出書
自動車使用管理実施

2025 年 4 月 8 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所	〒 060-0032 札幌市中央区北2条東12丁目98番地12
氏名	大善建設株式会社
(代表者名)	代表取締役社長 宮武 謙二
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項 第23条第3項 の規定により、環境保全行動自動車使用管理実施報告書を提出します。

報告期間	2024 年 4 月 1 日 ~ 2025 年 3 月 31 日				
事業の規模	従業員数	35 人	原油換算した 燃料・熱・電気の合計量	56.6	kl
	使用床面積	1,305 m ²			
	事業所数	2 事業所	自動車使用台数	42	台
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン	N ₂ O	HFC
149 t-CO ₂					t-CO ₂
	非エネルギー起源CO ₂	PFC	SF ₆	NF ₃	
					t-CO ₂
報告書の担当部署	担当部署名 担当者氏名 電話/FAX 電子メールアドレス				
計画書提出根拠	条例第13条(環境保全行動計画)		<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第3項		
	条例第23条(自動車使用管理計画)		<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第2項		
計画期間	2024 年 4 月 1 日 ~ 2027 年 3 月 31 日				
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書	別添のとおり				
備考					

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 のある欄には、該当する内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。



別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2024年 4月 1日～ 2027年 3月 31日

【報告期間】

2024年 4月 1日～ 2025年 3月 31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2024年度結果			2025年度結果			2026年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
自動車運行に伴う二酸化炭素排出量の削減	114 t	10 %	101 t	11 %	○						
事業活動で発生する二酸化炭素排出量の削減	50 t	2 %	40 t	20 %	○						
コピー用紙使用量の削減	670 kg	5 %	545 kg	19 %	○						
		%		%							
		%		%							
		%		%							

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
自動車運行に伴う二酸化炭素排出量の削減	○	アイドリングの実施。 現場で使用する車両を相乗りして使用台数を少なくした為。
事業活動で発生する二酸化炭素排出量の削減	○	不在時や使用していない場所で消灯を徹底した。 各部署の設定温度を1℃低く設定した。
コピー用紙使用量の削減	○	再利用を徹底し、データ保存を徹底した。